

第72期報告書  
フクダ電子株式会社  
**2019.03**

2018年4月1日から2019年3月31日まで



おかげさまで80周年

# Touch the Innovation

医療の未来がここにある。



 **FUKUDA  
DENSHI**

<https://www.fukuda.co.jp/>

証券コード：6960



代表取締役会長  
福田 孝太郎

代表取締役社長  
白井 大治郎

経営理念

社会的使命に徹し、  
ME機器の開発を通じて、  
医学の進歩に寄与する

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第72期（2018年4月1日から2019年3月31日まで）の報告書をお届けするにあたりご挨拶申し上げます。

1939年、心電計の製造・販売業で創業してから本年10月には80周年を迎える運びでございます。当社の歩みは創業者・福田 孝が長兄とともに開発した国産第1号の心電計から始まります。

そして呼吸器・循環器系を中心に医用電子機器専門メーカーとして順調に社業を進展して来ることができました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

さて、日本は世界に例を見ないスピードで高齢化が進行しています。そうした中で国民の健康寿命の延伸と「安全・安心そして快適」な生活を送ることが重要な課題となり、医療機器も病気の診断・治療もさることながら健康維持・向上やクオリティ・オブ・ライフの充実への役割が大きくなってまいりました。

このように新しい時代の多様化・高度化する医療ニーズに一つ一つ丁寧に、さらには迅速に対応することでお客様そして社会からの信頼と共感を賜りながら「百年企業」への針路を確立してまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

Q 当期の業績についてご説明ください。

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかに拡大しているものの、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられ、先行きへの不安も依然残っております。

医療機器業界においては、平成30年度診療報酬は全体としてマイナス改定となり、医療機関には引き続き効果的・効率的で質の高い医療の提供が求められております。

このような環境の中、当連結会計年度の売上高は1,297億75百万円（前期比0.7%増）となりました。利益につきましては、営業利益は126億45百万円（前期比2.5%増）、経常利益は132億88百万円（前期比4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は95億77百万円（前期比2.8%増）となりました。

Q 来期の見通しについて教えてください。

今後のわが国経済の見通しにつきましては、緩やかな回復傾向が続くと見込んでおります。

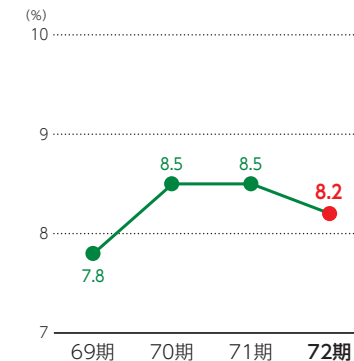
フクダグループは、経営理念に則り、医学の進歩に寄与すべく、一層の社会的使命感を持って医療への貢献に向け弛まぬ努力を続けてまいります。

来期の見通しにつきましては、売上高1,310億円、営業利益127億円、経常利益129億円、親会社株主に帰属する当期純利益92億円を見込んでおります。

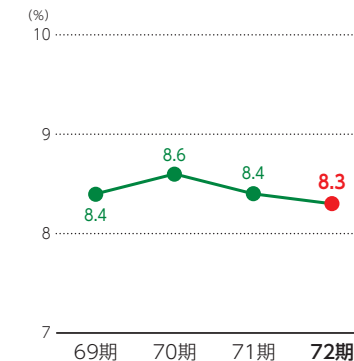
なお、現時点で予測しうる見通しであり、変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

収益性指標

ROE(自己資本当期純利益率)

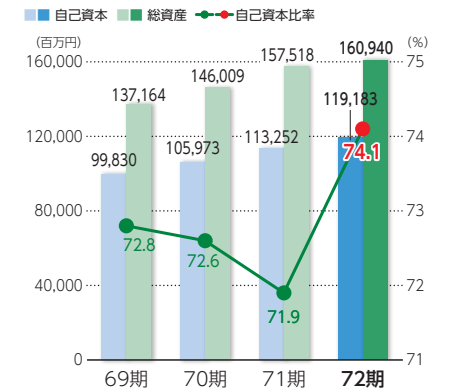


ROA(総資産経常利益率)



安全性指標

自己資本/総資産/自己資本比率



## Q 株主様への利益還元について ご説明ください。

1株当たりの配当金  
**175 円**

期末配当金：105円  
(普通配当：60円  
特別配当：40円  
記念配当：5円)  
中間配当金：70円

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要施策として位置づけ、必要な内部留保を図りながら企業体質を充実・強化し、競争力のある事業展開、安定的な利益還元を継続して行うことを基本方針と定めております。

当期の期末配当金につきましては、通期の親会社株主に帰属する当期純利益が期初に予想した数値を上回ったことから、普通配当を60円、特別配当を40円、さらに過去最高益達成記念配当として5円を加え、合計105円とさせていただきます。これにより、年間の配当金は、中間配当金70円と併せて1株につき175円となります。

来期の配当につきましては、業績などを勘案し、175円（中間配当金75円、期末配当金100円）を予定しております。

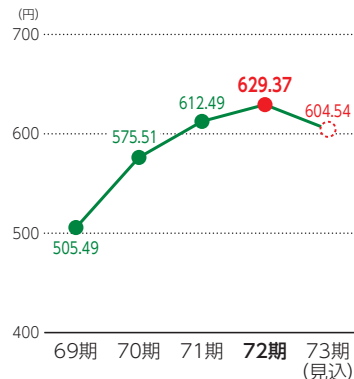
## Q フクダクラウドサービスとはどのようなものですか？

フクダクラウドサービスとは、クラウド上のデータセンターを利用し、外部のクラウドとも連動しながら、診療所から病院、在宅などの各種データを集約できる仕組みです。

既の実現できているサービスとしては、クリニック向けのf'no（エフノ）、在宅医療向けのF-Rens（フレンズ）、介護分野の安診ネット、オムロンヘルスケア社のオムロンコネクとの連携となります。

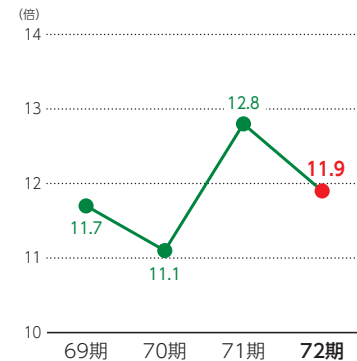
## 1株当たりの指標

### EPS (1株当たり当期純利益)



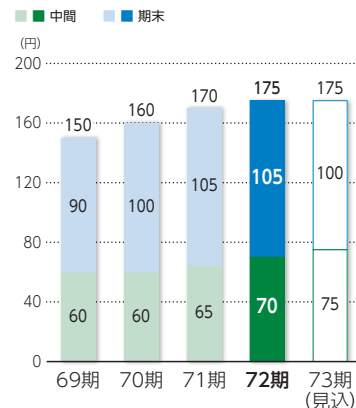
## 株価指標

### PER (株価収益率)

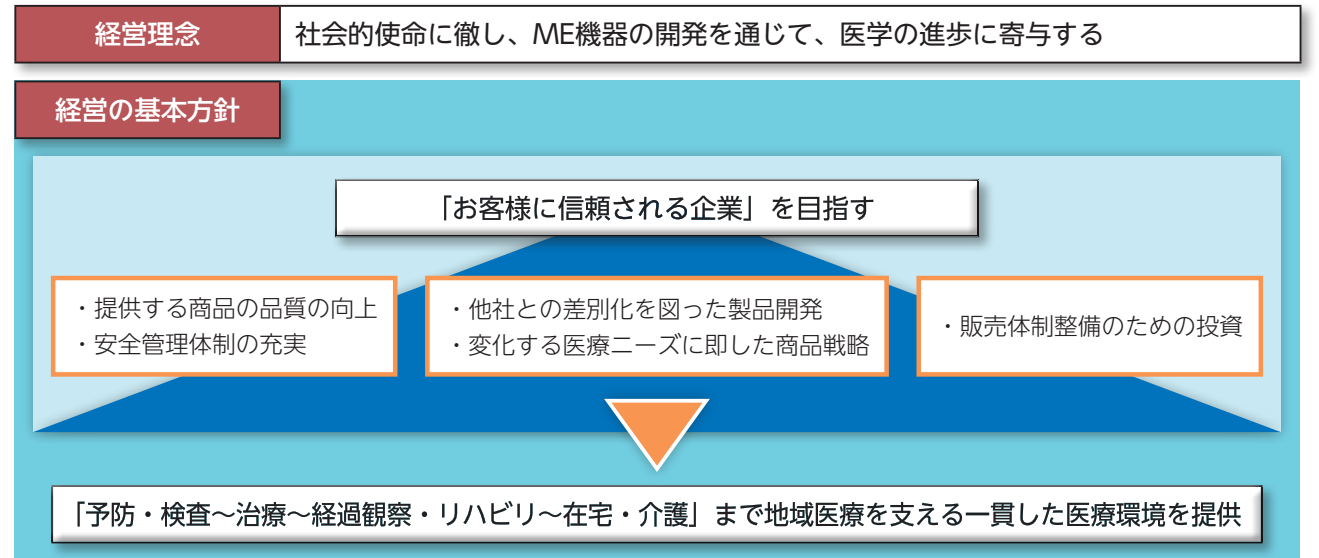


## 株主還元

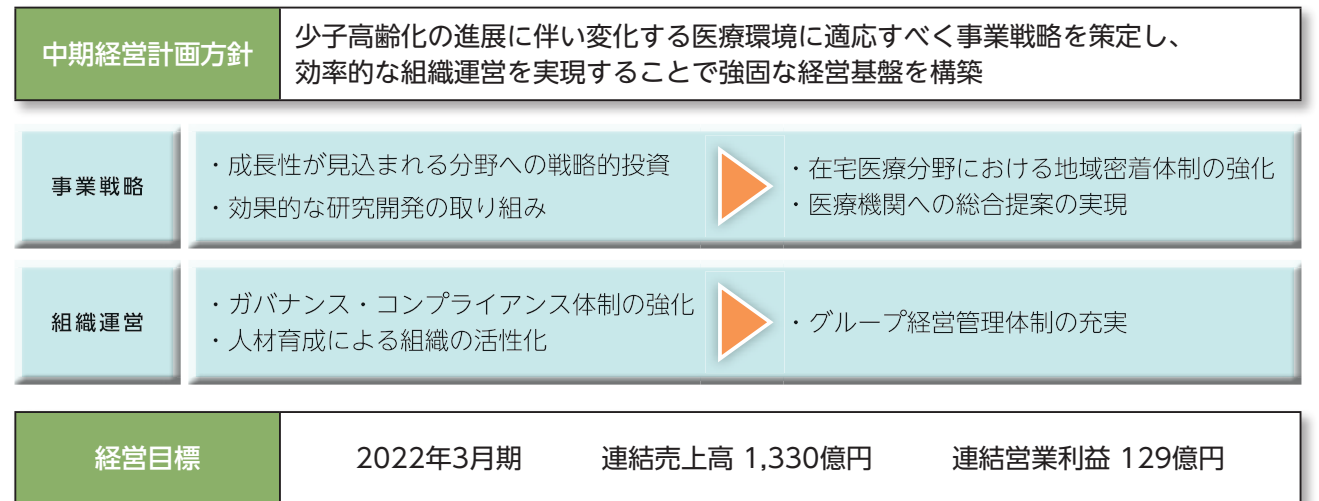
### 配当金



## 1. 経営方針



## 2. 中期経営計画



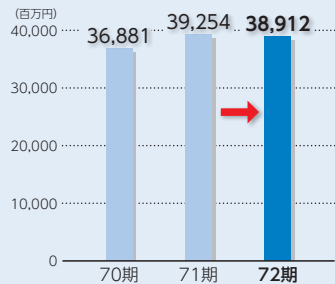


部門別概況 (2018年4月1日～2019年3月31日)

生体検査装置部門

売上高構成比  
**30.0%**

売上高 **38,912** 百万円  
(前期比 0.9%減)



**[事業内容]**

心電図、心音図、脈波、血圧、呼吸、臓器の動きなどの生体機能を示す物理現象を電気信号に変換し、測定記録する心電計、ポリグラフ、超音波画像診断装置などの製造・購買及び販売

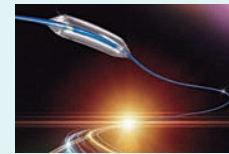
**[ポイント]**

当期は心電計関連の売上は伸張しましたが、大口商談の減少により売上高は389億12百万円（前期比0.9%減）となりました。



血圧脈波検査装置

心電計



PTCAカテーテル



人工呼吸器

売上高構成比  
**38.6%**

**[事業内容]**

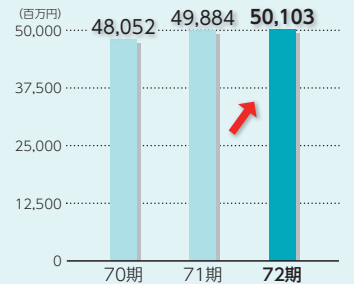
心臓や血管の治療に用いられるカテーテルをはじめ、心停止の蘇生や調律異常を治療する除細動器、ペースメーカ、人工呼吸器、在宅療養者向けのHOT（酸素吸入）、HMV（人工呼吸）、CPAP（睡眠時無呼吸症候群の治療）などの製造・購買及び販売・レンタル

**[ポイント]**

当期のペースメーカ関連製品の売上は減少しましたが、在宅医療向けレンタル事業の売上は伸張し、売上高は501億3百万円（前期比0.4%増）となりました。

治療装置部門

売上高 **50,103** 百万円  
(前期比 0.4%増)



第72期 売上高  
**129,775** 百万円  
(前期比 0.7%増)



**[事業内容]**

手術後の重症患者様、急性心疾患の患者様などについて、生体の諸機能を長時間にわたって監視する心電図モニター、多種組合せの生体情報モニターなどの製造・購買及び販売

**[ポイント]**

当期のモニターの売上高は94億75百万円（前期比2.0%減）となりました。

売上高 **9,475** 百万円  
(前期比 2.0%減)

売上高構成比  
**7.3%**

生体情報モニター部門



セントラルモニター

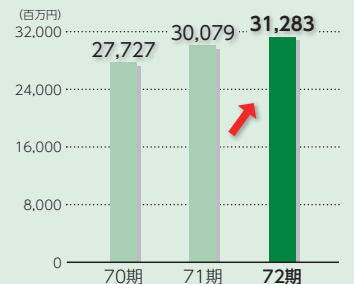
ベッドサイドモニター

**[事業内容]**

医用電子機器に用いる記録紙、電極、付属品及び部品の製造・購買及び販売

**[ポイント]**

当期の消耗品等部門の売上高は312億83百万円（前期比4.0%増）となりました。消耗品等部門は、記録紙、ディスプレイ電極や各部門の器械装置に使用する消耗品や修理、保守を含みます。



売上高 **31,283** 百万円  
(前期比 4.0%増)

売上高構成比  
**24.1%**

消耗品等部門



ディスプレイ電極

記録紙

# 100年企業へのチャレンジ!

—新分野・ブランド構築への挑戦—

フクダグループは、2019年10月1日に80周年を迎えます。

シリーズ第2回目となる今回は、新分野への事業拡大・フクダブランドの構築に挑戦し、成長を遂げてきたフクダグループの歴史をご紹介します。

## 在宅酸素事業の展開

アメリカでは高齢化社会に向けて既に在宅酸素療法が普及しており、1983年に当社は代理店として国内で販売を開始した。  
1986年に在宅酸素療法の保険点数が認められ、それが追い風となり急速に売上が伸び、1992年にフクダバイタルテック株式会社を設立し、本格的に在宅酸素を扱う体制を構築。  
1994年からライフテック販社が相ついで誕生し全国展開を開始した。  
2002年には試行錯誤の末、自社開発1号となる酸素濃縮装置FH-18/3Lを完成させ、事業展開に大きく弾みがついた。



酸素濃縮装置 FH-18/3L

**1992**  
フクダバイタルテック(株)設立

**1994**  
販売会社「フクダライフテック」の全国展開を開始

**1999**  
睡眠時無呼吸症候群事業を開始

**2002**  
酸素濃縮装置を自社にて開発、販売(FH-18/3L)



フクダ電子アリーナ

## AEDの普及

2004年7月1日から一般市民による使用が認められ、急速に普及したAED(自動体外式除細動器)。実際に一般市民のAED使用により生命が救われている。とはいえ、正しい使用方法の知識がなければAEDの使用は難しい。AEDを供給する者として正しい知識が広がるように活動することも当社に課せられた使命である。



AED講習会「PUSHコース」の様子



楽天生命パーク宮城に設置されたAED

**2004** AED販売開始

## ブランド構築への挑戦

在宅医療のニーズ拡大やAEDの普及とともに一般市民との接点が増えており、ブランドイメージ構築の意義が増大してきた。現在、当社が中長期的な視野に立って実施しているPR活動は千葉市蘇我球技場のネーミングライツ取得による「フクダ電子アリーナ」と、プロ野球の東北楽天ゴールデンイーグルスと千葉ロッテマリーンズのスポンサー等である。なお、フクダ電子アリーナにはAEDを11台設置するなどCSR活動にも力を入れている。



フクダ電子アリーナに設置されたAED ©JEF UNITED ©Chiba City



東北楽天ゴールデンイーグルスのオフィシャルトップスポンサー



千葉ロッテマリーンズのオフィシャルスポンサー

**2010**  
東北楽天ゴールデンイーグルスとスポンサー契約

**2011**  
千葉ロッテマリーンズとスポンサー契約

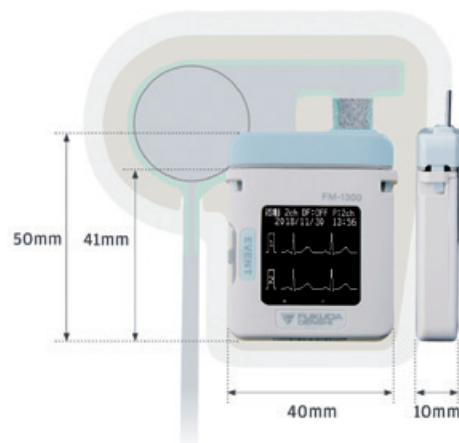
**2005**  
フクダ電子アリーナ誕生

## 待望の“超薄型”ホルター登場

フクダグループは1973年に国産初のテープ式ホルター心電計を世に送り出し、以降マーケットリーダーとして様々な機能、製品を開発してきました。そして「社会的使命に徹し、ME機器の開発を通じて医学の進歩に寄与する」との経営理念のもと、ホルター心電計に必要とされるものは何かを徹底的に検討し、試行錯誤して技術的課題を克服した結果、クラス最薄、最軽量のディスプレイ付ホルター心電計FM-1300が完成しました。

### デジタルホルター記録器

#### デジタルウォーク FM-1300



NEW

医療機器認証番号：230ADBZX00099000  
管理医療機器 特定保守管理医療機器  
製造販売業者 フクダ電子株式会社

#### 担当者コメント

フクダ電子株式会社 開発本部 勝俣 豪



ホルター検査は、電極、記録器本体を24時間装着するため、被検者の負担が大きい検査になります。FM-1300は記録器の小型、軽量化を行うことで、電極上での装着を可能としています。これにより装着感が格段に向上し、被検者の検査負担が軽減できると考えます。また、既存製品とは異なり、電極を記録器に接続するだけで装着できるため、装着時の手間も軽減することができます。

### 特長

#### 1. クラス最薄、最軽量

長時間心電図レコーダWR-100の技術を応用し、クラス最薄、最軽量<sup>※1</sup>を実現しました。

※1 2018年11月当社調べ（国産のディスプレイ付ホルター記録器）  
サイズ：幅40mm×高さ41mm×奥行10mm  
重量：約17g（電池含まず）

#### 2. 被検者・操作者の装着負担を軽減

電池ケースと電極を一体化した新L字型電極の採用により、被検者の装着負担を大幅に軽減し、検査をより素早く簡単に行えるようになりました。

#### 3. 入浴可能な防水性能

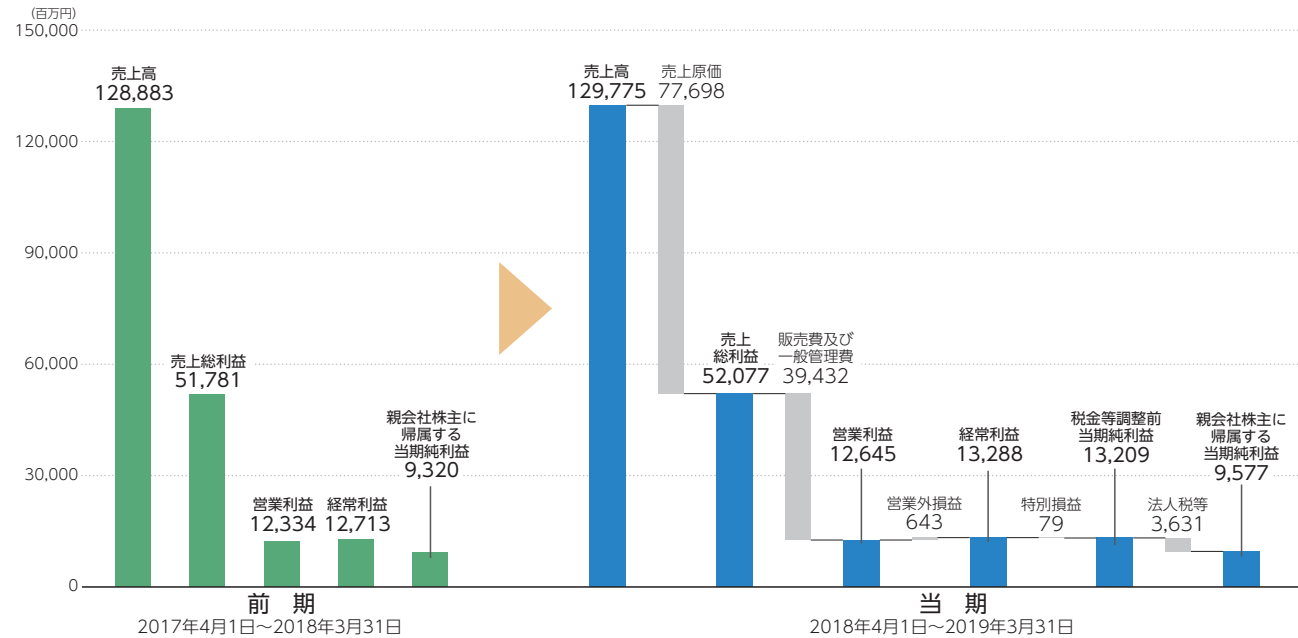
防塵・防水の国際規格IP66/68への適合により、入浴はもとより、日常生活におけるQOLを損なうことなくご使用いただけます。

#### 4. 波形・設定確認用液晶を搭載

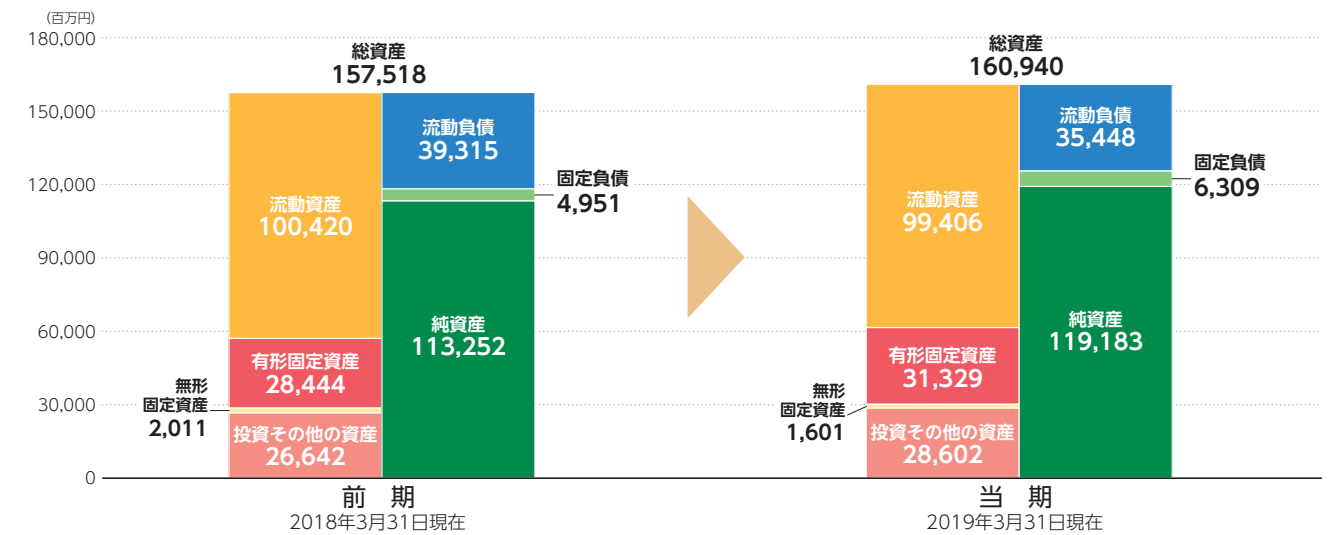
176×176dotバックライト付き液晶ディスプレイを搭載したことで、周囲の明るさの影響を受けることなく、波形や設定の確認ができます。



連結損益計算書の概要

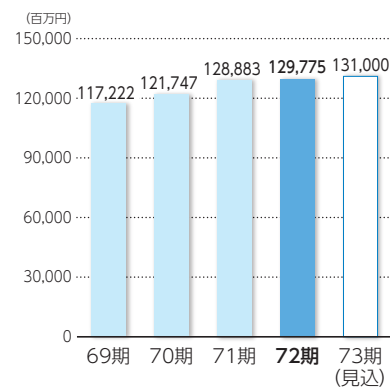


連結貸借対照表の概要

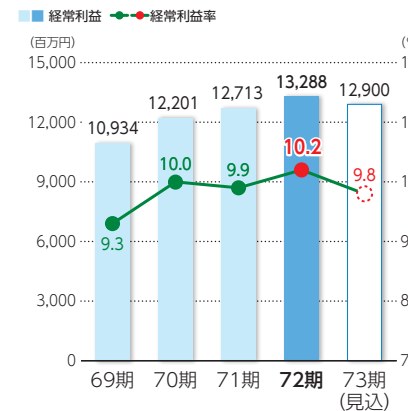


連結財務ハイライト

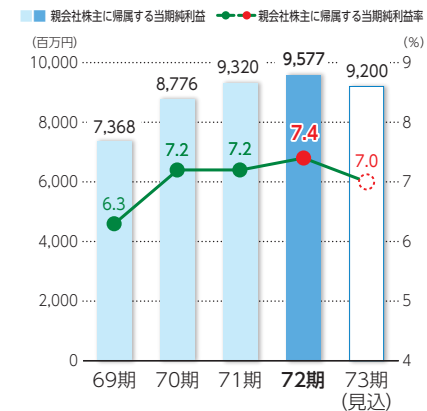
売上高



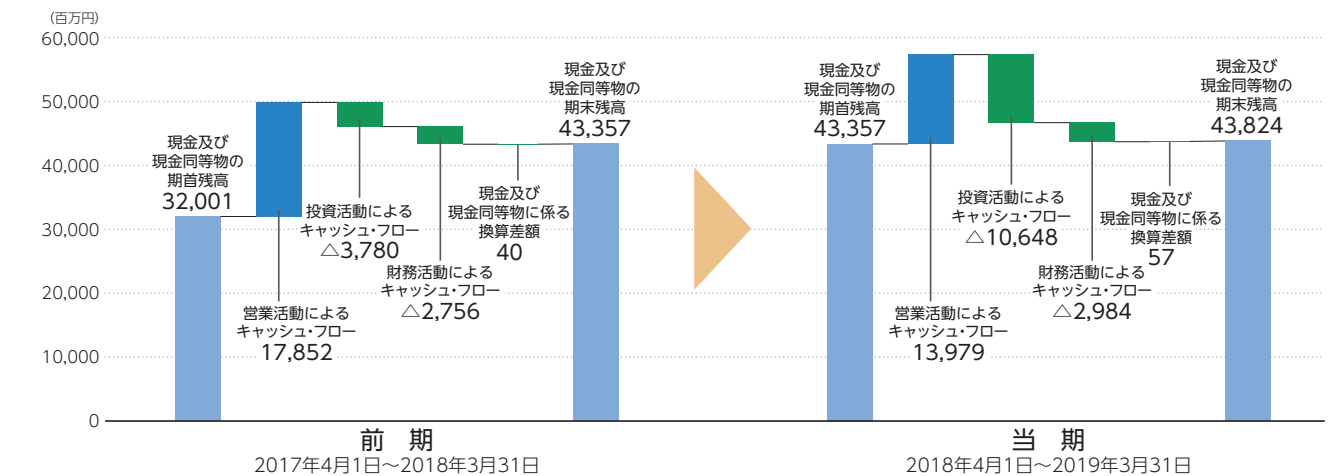
経常利益/経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益/親会社株主に帰属する当期純利益率



連結キャッシュ・フローの概要



詳細な財務情報は当社ホームページ「IR情報」に掲載している決算短信をご利用ください。

<https://www.fukuda.co.jp/ir/>

## フクダグループ (2019年6月27日現在)

地域密着型の全国ネットワークで、よりよい製品とサービスの提供に努めております。

<b>■フクダ電子販売</b> 本社 23社 営業所 53 出張所 4	<b>■フクダコーリン</b> 本社 1社 支店 20 出張所 2
<b>■フクダライフテック</b> 本社 17社 営業所 76 出張所 29	全国 <b>225</b> 拠点

### 北海道・東北地区

- フクダ電子北海道販売株式会社
- フクダ電子北東北販売株式会社
- フクダ電子南東北販売株式会社
- フクダライフテック北海道株式会社
- フクダライフテック北東北株式会社
- フクダライフテック南東北株式会社

### 関東地区

- フクダ電子北関東販売株式会社
- フクダ電子西関東販売株式会社
- フクダ電子南関東販売株式会社
- フクダ電子東京販売株式会社
- フクダ電子東京中央販売株式会社
- フクダ電子東京西販売株式会社
- フクダ電子神奈川販売株式会社
- フクダライフテック関東株式会社
- フクダライフテック千葉株式会社
- フクダライフテック東京株式会社
- フクダライフテック東京西株式会社
- フクダライフテック横浜株式会社

### 北陸・中部・東海地区

- フクダ電子新潟販売株式会社
- フクダ電子北陸販売株式会社
- フクダ電子長野販売株式会社
- フクダ電子中部販売株式会社
- フクダ電子三岐販売株式会社
- フクダライフテック北信越株式会社
- フクダライフテック中部株式会社

### 近畿地区

- フクダ電子京滋販売株式会社
- フクダ電子近畿販売株式会社
- フクダ電子兵庫販売株式会社
- フクダライフテック京滋株式会社
- フクダライフテック関西株式会社
- フクダライフテック南近畿株式会社
- フクダライフテック兵庫株式会社

### その他グループ

- フクダライフテック株式会社
- フクダ電子ファインテック仙台株式会社
- 株式会社フクダ物流センター
- フクダ電子技術サービス株式会社
- フクダメディカルソリューション株式会社
- アトミック産業株式会社
- フクダコーリン株式会社
- プレステクノロジー株式会社
- 北京福田電子医療機器有限公司
- FUKUDA DENSHI USA, Inc.

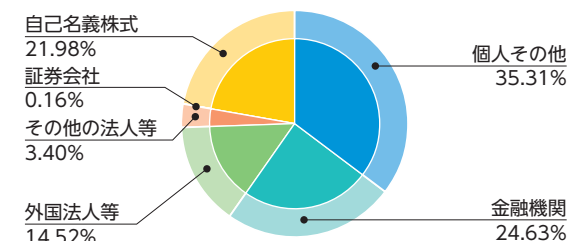
## 会社の概況 (2019年6月27日現在)

商号 フクダ電子株式会社  
 設立 1948年(昭和23年)7月6日  
 資本金 46億2,160万円  
 事業内容 医用電子機器の開発・製造・販売及び輸出入  
 本店所在地 〒113-8483 東京都文京区本郷三丁目39番4号  
 主な取引銀行 株式会社きらぼし銀行  
 株式会社三菱UFJ銀行  
 株式会社みずほ銀行  
 株式会社北陸銀行  
 株式会社七十七銀行  
 株式会社商工組合中央金庫  
 みずほ信託銀行株式会社

## 株式の状況 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数…………… 78,000,000株  
 発行済株式の総数…………… 19,588,000株  
 株主数…………… 2,502名

## 所有者別分布状況 (2019年3月31日現在)



## 取締役及び監査役 (2019年6月27日現在)

代表取締役会長 福田 孝太郎  
 代表取締役社長 白井 大治郎  
 取締役 白川 修  
 取締役 福田 修一  
 社外取締役 杉山 昌明  
 社外取締役 佐藤 幸雄  
 常勤監査役 中川 行雄  
 社外監査役 岡野 照久  
 社外監査役 後藤 啓二

## 大株主 (2019年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
福田 孝太郎	3,470	22.71
日本生命保険相互会社	752	4.93
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 きらぼし銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	695	4.55
株式会社三菱UFJ銀行	677	4.44
福田 礼子	644	4.22
ピーピーエイチ フィデリティ ビューリタン フィデリティ シリーズ インタリシック オポチュニティズ ファンド	625	4.09
株式会社みずほ銀行	521	3.41
株式会社北陸銀行	500	3.27
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505224	435	2.85
福田 百合子	367	2.40

(注) 1 当社は自己株式を4,305千株保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
 (注) 2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。



## ◆株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか取締役会の決議で定めたる日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付/ 電話お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	当社ホームページに掲載する。(電子公告) < <a href="https://www.fukuda.co.jp/">https://www.fukuda.co.jp/</a> >
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)

## ◆株式事務に関するご案内

### ●証券会社でお取引をされている株主様

お手続き お問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

### ●特別口座に記録されている株主様

特別口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
各種お問い合わせ 及び郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-782-031 (フリーダイヤル)
お手続き内容	住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での 留意事項	①特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きを行う必要がございます。 ②株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金の支払い、支払明細等の発行に関するお手続きはみずほ信託銀行にお問い合わせください。  
なお、未払配当金のお支払いは、みずほ銀行本店及び全国各支店でもお取扱いいたします。

お手続き お問い合わせ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324 (フリーダイヤル)
-----------------	--

**フクダ電子株式会社**

東京都文京区本郷3-39-4 TEL.(03)3815-2121代

医療機器のフクダ電子 | 検索

UD FONT

